



手作業での稲刈りに挑戦する児童
＝富士市椛の田んぼ

元吉原小児童が稲刈り 食のありがたみ学ぶ

富士

富士市の元吉原小5年生35人が6日、同市椛の田んぼで稲刈りを体験した。汗を流しながら手作業で収穫し、農業の大変さや食のありがたみを学んだ。

収穫したのは、児童が5月に手植えた「コシヒカリ」。地元米農家の栗田孝一さん(83)や農家有志に鎌の持ち方や使い方を教わり、児童は日差しが照りつける中、昔ながらの方法で稲刈りに挑戦した。池田遥香さん(10)は「こんなに大きく育つなんてびっくり。初めての稲刈りで楽しかった」と話した。

体験は地元の農業への理解と関心を深めることが目的。収穫した米は精米し、給食の時間に味わうという。

記事を読んで、問いに答えましょう。

①記事の児童はどんな稲刈りに挑戦していますか。

(例) 鎌を使った、昔ながらの手作業で行う稲刈り

②児童が収穫した米の品種は何ですか。また、収穫後の米はどうしますか。

品種 (コシヒカリ) 収穫後 (精米し、給食の時間に味わう。)

③この体験を通して児童は何を学びましたか。

(例) 農業の大変さや食のありがたみ

④実際に体験することによって、どんな良いことがあると思いますか。あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)

・体験してみることで、本当の楽しさや大変さが実感できるから。(29字)

・体験することによって驚くことも多く、理解や関心が深まるから。

(30字)

など